



あれこれ



2019年度第2号

担当：鶴岡田川支部

お問合せ：山形県建築士会

Tel : 023-643-4568

<http://www.yamagata-ken.org>

山形県建築士会女性部委員会では入会者募集中！

■ 建築士全国大会 北海道 函館

エクスカッションAコース『函館の歴史的建造物街並見学 R1.9.22

山形支部：齋藤尚子



元町周辺徒歩約2kmのコースに女性委員6名で参加しました。



この辺りは海からの季節風が強く、一度火災が起こると大火となり全て焼失してしまうので、防火帯として坂を作ったそうです。チャーミーグリーン
のCMでおじいちゃんとおばあちゃんが仲良く歩いた八幡坂もその一つです。坂道の所々に黄色の消火栓が目につきます。函館の消火栓は全て黄色です。



『東本願寺函館別院』は、日本初のコンクリート造。檀家の反対を押し切ったの建築でしたが、砂利や砂を手洗するなど丁寧に造ったので、現在も腐食なく残っているそうです。



『旧相馬邸』は明治41年の和洋折衷の歴史的建造物で、天井を高くし囲炉裏の暖を2階の家族スペースにも取り入れた空気穴があります。書院の障子の棧は、見る角度によって模様が変わりました。洋室は外観も洋館で、たくさんの彫刻が施されています。ドアの引手は紫外線が当たると緑色に光る珍しい物でした。窓は上下窓と横引きとの2重窓に、豪華な厚手のカーテンとで、冬場の寒さ対策も考えられていました。



『旧イギリス領事館』は、イギリス政府の設計のもとに、函館の職人によって建てられました。イギリス積みレンガに漆喰を塗った耐火建築物で、各部屋に暖炉があり、屋根にはたくさんの煙突を見ることができます。

その他にも函館には、日本初がたくさんあり、開港都市ならではの異国情緒あふれる街並みでした。当時はたくさんの外国人と日本人が様々な服装に道具や文化が入り乱れて、さぞ賑やかで活気に満ちたものだったろうと想像すると、ワクワクする見学コースでした。



『函館ハリスト正教会』は、ロシア正教会聖堂です。屋根にろうそくの炎の形の飾りがあり、その上に変った形の十字架が付いています。八端十字架と言って『罪を悔い改めないと地獄に落ちる』と怖い意味があるようです。

今年度の東北ブロック会女性委員会は、視察・見学会として、10月6日(日)秋田県横手市にて開催されました。昨年講師を務めていただいた安井妙子先生による修復建物「国登録有形文化財 平源旅館」を中心に、歴史と伝統を巡る「まちあるき」となりました。



羽黒町
武家屋敷通り

白井晟一設計の旧建物は解体されましたが、白井デザインの格子は遺されました。

市立横手病院
建物の格子



旧日新館

午前は羽黒町武家屋敷通りから「旧日新館」をへて、「昨雪軒」へ。「旧日新館」は秋田県に残る唯一の明治時代の木造洋風住宅で、外人教師・宣教師館として建てられ、現在も一般住宅として使用されているとのこと。



「昨雪軒」は言わずと知れた白井晟一の名作。完成からほぼ50年、当時の写真と見比べると瓦屋根から銅板葺きに変わりましたが、その佇まいとクオリティは不変のようです。ちなみに秋田には白井建築が数多く存在し、かつて設計や施工に関わった方からの話も伺うことができました。

昨雪軒



ドアノブがまんなか！

昼は平源旅館（現在は「ゲストハウス平源」）をじっくり見学させていただいた後に、新たに増築されたレストランでランチタイム。安井先生のレクチャーと、「増田まちなみ研究会」による修復事業紹介を受けながら、フレンチに舌鼓です。



ゲストハウス平源



増田山満福治本堂
修理工事見学

増田蔵の日

増田は商人の町として明治以来の建物が数多く残っており、国より「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。屋内に鞘で覆われた「内蔵」を持ち、かつ、それらの家々が今でも日常の生活で使われているのが特徴です。当日はちょうどお祭りで、神輿も繰り出す賑やかな蔵のまちなみ散策が締めとなりました。

ぎゅっと詰まった、濃い一日。短い期間のなかで準備をいただいた秋田県建築士会のみなさん、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

■ 番外編～前泊・意見交換会 報告

東北ブロック会視察・見学会の前夜、雄物川町雄川荘で意見交換会が行われました。

秋田県建築士会の皆様に暖かい歓迎を受け、交流を深めました。

たくさんのご厚志のお酒の利き酒会や、各県の県歌の披露などとても楽しい時間を過ごしました。



令和元年11月9日、大会テーマ「叶えよう！広げよう建築士の夢」と題して、南陽市熊野大社、證誠殿にて山形青年大会を開催いたしました。代表からの挨拶と来賓の皆様からご祝辞をいただきました後、日本建築士連合会 まちづくり委員会高橋 康夫氏よりご講演いただきました。講演中には会場の参加者に高橋氏より直接質問がなげかけられました。空家問題の現状や住民一体となって活動しているまちづくりなど、それぞれの支部の取り組みについて話を聞くことができ、より具体的な実例でもって意見交換がされました。

その後、会場からでてすぐ、石畳の階段をのぼった先にある宮内熊野大社へ。日本三熊野の一つである宮内熊野大社は、県内最古の茅葺屋根建築でも有名。その荘厳な拝殿の中に入り、ご祈祷と巫女の舞がとりおこなわれました。本殿裏には、3羽のうさぎが隠された彫刻があります。その姿を運よく見つけると願い事が叶うといわれています。大会テーマでもある「建築士の夢」をいいただきながら、境内を自由散策し、3羽のうさぎ探しをいたしました。

会場にもどり懇親会では、地元で活躍しているバンドによる生演奏が披露されました。ベンチャーズからフォーク弾き語りまで、幅広いジャンルで楽しませてもらいました。バンド演奏の後には、建築士の夢抽選会をおこないました。先に参加者には、建築士の夢を紙に書いてもらっており、そのなかから抽選をおこないました。当選した方には、ご自身の夢を発表してもらいました。熱意あふれる発表の数々。その度に会場から熱い声援と拍手に湧き上がりました。大会を通し、各支部の方々と交流することができ、楽しいひとときでした。



お知らせ

11月2日に開催を予定しておりました第2回建築女子フォーラムには諸事情により、急遽中止させていただきました。

御遠方よりご参加くださる皆様、楽しみにされていた皆様には多大なご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

未定ではありますが、5月に開催を予定しております。詳細が決まり次第、ご案内のチラシを改めて配布しますのでご参加のご検討をお願いいたします。

あとがき

2019年度「あれこれ」発行にあたり、読んでくださった皆様、原稿依頼に快くご協力を頂いた皆様に感謝いたします。

鶴岡田川支部 女性部委員会一同